

平成31年  
(2019年)度



東京都の

# 中小企業向け融資制度のご案内

## 「東京都中小企業制度融資」とは…

中小企業のみならず、事業に必要な資金を円滑に調達していただけるよう、東京都、東京信用保証協会、金融機関の三者が協調して資金を供給するものです。

- 創業、事業拡大、経営の安定化等のニーズに応じた多様な融資メニューをご利用いただけます。
- 融資と併せて、信用保証料の補助や経営支援を受けられる融資メニューがあります。

## 主な新規・拡充内容

### 中小企業が直面する重要課題に対応します！

#### 働き方改革支援融資の新設

- テレワークや時差Bizなど働き方改革に取り組む中小企業の資金調達に幅広く活用できる融資メニューを新設します。
- 信用保証料の2分の1を東京都が補助し、テレワークに取り組む場合は3分の2を補助します。

#### 事業承継融資の拡充

- M & Aにより事業承継に取り組む中小企業に対し、融資限度額2,500万円、融資期間3年以内の一括返済が可能な特例メニューを新設します。

#### 設備投資・企業立地促進融資の拡充

- 設備投資の融資期間の上限を15年に拡大します。
- 設備資金に付随する運転資金も新たに活用いただけます。

### 経営基盤の強化を支援します！

#### 小口短期融資の新設

- 日常の運転資金ニーズに対応した融資期間1年以内の一括返済かつ継続利用も可能な融資メニューを新設します。

#### 経営支援融資の拡充

- 新たに東京信用保証協会が開催する「経営サポート会議」と連携し、中小企業の経営改善を後押しします。

## ご利用いただける方

- 東京都内に事業所（個人事業者は事業所又は住居）があり、信用保証協会の保証対象業種を営む中小企業者又は組合

（保証対象とならない業種：農林・漁業、遊興娯楽業のうち風俗関連営業、宗教法人等）

- ▶ 中小企業者とは、以下のいずれかを満たす法人又は個人事業者です。 ※ 中小企業信用保険法第2条第1項による。

	製造業等	卸売業	小売業	サービス業
① 資本金	3億円以下	1億円以下	5,000万円以下	5,000万円以下
② 従業員数	300人以下	100人以下	50人以下	100人以下

このうち、従業員数が製造業等20人以下（卸・小売・サービス業は5人以下）の事業者等は**小規模企業者**となります。

- 許認可等が必要な業種にあっては、当該許認可等を受けている（又は、受ける）こと。
- 事業税等の未申告、滞納や、社会保険料の滞納がないこと（完納の見通しが立つ場合はこの限りではありません。）。
- 現在かつ将来にわたって、暴力団員等に該当しないこと、暴力団員等が経営を支配していると認められる関係等を有しないこと及び暴力的な要求行為等を行わないこと。

このパンフレット掲載の情報は、平成31年4月1日時点のものであります。

平成31年（2019年）度 東京都中小企業制度融資一覧 **NEW** :平成31年（2019年）度の主な新設・拡充

平成31年4月1日現在

融資メニュー		資金の特徴		融資対象		融資限度額		融資期間 <sup>※1</sup>		融資利率 <sup>※2</sup>		信用保証料補助					
						（ ）内は組合		運転資金	設備資金								
様々な事業運営に活用	小規模企業向け融資	小口 <sup>※3</sup>	小口資金を調達	従業員数が製造業等20人以下（卸・小売・サービス業は5人以下）の事業者等であって、この融資を含め、全国の信用保証協会の保証付融資合計残高が2,000万円以下のもの（【国の全国統一保証制度】に対応）	2,000万円	7年以内	10年以内	1.9%以内～2.5%以内 <sup>*</sup>		全事業者1/2							
		小口短期 <b>NEW</b>				1年以内	—	1.9%以内 <sup>*</sup>									
		小規模企業	事業資金を調達			従業員数が製造業等30人以下（卸・小売・サービス業は10人以下）の中小企業者	8,000万円	7年以内	10年以内		2.1%以内～2.7%以内		—				
	一般事業資金融資	事業一般 <sup>※3</sup>	事業資金を調達	一般的な事業資金を調達する中小企業者等	2億8,000万円 (4億8,000万円)	7年以内	10年以内	金融機関所定		—							
		ビジネスチャンス・ナビ2020連携特例 <b>NEW</b>		(A)「ビジネスチャンス・ナビ2020」に登録していること (B)「ビジネスチャンス・ナビ2020」に登録し、かつ掲載された入札・調達案件を受注したこと	2,000万円 (4億8,000万円)	10年以内											
		極度枠設定	限度額内で繰り返し資金調達	同一事業を2年以上営み、経常利益を計上し債務超過でない法人、又は課税される所得金額がある個人事業者	1億円(2億円)	2年以内	—										
	組合向け <sup>※3</sup>	組合の事業資金を調達	事業協同組合等	(2億円) [転貸1組合員3,500万円]	7年以内	10年以内	2.1%以内～2.7%以内										
新たな事業展開に活用	創業融資	創業 <sup>※3</sup>	新規の創業資金、創業後の事業資金を調達	(1)現在事業を営んでいない個人で、創業しようとする具体的な計画を有している (2)創業した日から5年未満である中小企業者等 (3)分社化しようとする会社又は分社化により設立された日から5年未満の会社	3,500万円 (1)は、自己資金に2,000万円を加えた額の範囲内	7年以内	10年以内	1.9%以内～2.5%以内 1.5%以内～2.0%以内 <sup>*</sup>		全事業者1/2							
	産業力強化融資	設備投資・ <b>NEW</b>	機械・設備の導入・更新・増強	事業の実施に必要な設備（機械・装置、工具・器具・備品等）の導入、増強、改良、補修等（ICT、IoT、AI、ロボットを活用した設備の導入及び設備の導入等に伴うサイバーセキュリティ対策を含む。）、又は建物の改修、建替等（耐震化、バリアフリー化を含む。）を行う中小企業者	2億8,000万円	15年以内	1.7%以内～2.4%以内	全事業者2/3									
		企業立地促進	工場・事務所の新增設	都内で工場・事務所・店舗の新增設、移転等を行う中小企業者						全事業者1/2							
		働き方改革支援 <b>NEW</b>	テレワークや時差Biz等の働き方改革に対応	次の東京都の事業を活用し、テレワークなどの働き方改革に取り組んでいる中小企業者等 (1)「ワークスタイル変革コンサルティング」の支援 (2)「業界団体連携によるテレワーク導入促進事業」の支援 (3)「テレワーク機器導入事業」の助成 (4)「サテライトオフィス利用事業」の助成 (5)「TOKYO働き方改革宣言企業」の承認 (6)「家庭と仕事の両立支援推進企業」の登録 (7)「時差Biz」に参加	2億8,000万円 (4億8,000万円)	10年以内	1.7%以内～2.2%以内	全事業者1/2 (テレワークに取組む場合は2/3)									
			海外展開支援	販路拡大等の海外展開に対応						日本貿易振興機構、中小企業基盤整備機構、東京都中小企業振興公社の支援、自らの取組により、海外展開事業計画を策定し、実行に取り組む中小企業者	小規模企業者1/2						
			チャレンジ	新製品の開発、事業の多角化、事業継続計画（BCP）の策定・実施等						(1)公的機関の認定・認証・登録等を受けて実施する事業を行う (2)東京都等の助成金の交付決定を受けた事業を行う (3)平成31年(2019年)度において東京都が重点的に支援を行う事業等に取り組む			1.7%以内～2.2%以内 (経営革新計画又はBCPに係る支援を受けた場合上記より0.2%優遇)				
			政策特別 (金融機関提案)	融資とあわせ経営や販売のアドバイス等経営支援を実施						新たな事業展開や経営改善などの前向きな取組を行う中小企業者等（取扱金融機関ごとに融資限度額、融資期間、融資利率等は異なります。詳細は東京都のホームページをご覧ください。）					2億8,000万円 (4億8,000万円)		金融機関所定 金融機関所定
経営の安定化に活用	危機対応	大規模な経済危機や災害等に対応	(1)東日本大震災復興緊急保証に係る区市町村長等の認定等を受けた中小企業者等 (2)危機関連保証に係る区市町村長の認定を受けた中小企業者等	2億8,000万円 (4億8,000万円)	10年以内	1.5%以内～2.0%以内 <sup>*</sup>		全事業者1/2									
	経営セーフ	セーフティネット保証に係る区市町村長の認定を受けた中小企業者等	1.7%以内～2.2%以内														
	経営支援融資	経営一般			売上の減少、取引先の倒産、災害等に対応	(1)最近3か月の売上が前年同期比5%以上減少又は減少見込 (2)最近3か月の売上が平成20年8月以前の直近同期比5%以上減少又は減少見込 (3)売上原価の20%以上を占める原油等仕入価格が20%以上上昇の一方で価格転嫁できていない (4)金融機関からの総借入金が前年同期比10%以上減少 (5)倒産等企業に事業上の債権を有している (6)災害により事業活動に影響を受けている (7)東京都知事が指定するもの（アスベスト対策） (8)東京都知事が指定するもの（2020関連）	1億円 (2億円)	1.7%以内～2.2%以内		小規模企業者1/2 (経営一般(8)は全事業者1/2)							
		事業承継 <sup>※3</sup>	事業承継前後における経営の安定化や事業の多角化に対応	(融資対象1)次のいずれかに該当する中小企業者 (1)事業承継を10年以内に行う計画を策定し、計画の実行に取り組む (2)事業承継をした日から5年未満で、事業計画を策定し経営安定化等に取り組む (3)すでに事業承継をし、経営承継円滑化法に係る認定を受けた (4)これから事業承継をし、経営承継円滑化法に係る認定を受けた (融資対象2)次のいずれかに該当するもの (1)すでに事業承継をした会社である中小企業者の代表者個人で、経営承継円滑化法に係る認定を受けた (2)これから事業承継をする事業を営んでいない個人で、経営承継円滑化法に係る認定を受けた	2億8,000万円	15年以内						1.7%以内～2.4%以内					
			M&Aつなぎ特例 <b>NEW</b>	M&Aにより事業承継に取り組む中小企業者										2,500万円	3年以内		1.7%以内
	経営支援	経営支援 <b>NEW</b>	商工団体等と連携して中小企業の経営改善をサポート	(1)金融機関及び認定経営革新等支援機関の支援を受けつつ、自ら事業計画の策定並びに計画の実行及び進捗の報告を行う中小企業者等（【国の全国統一保証制度】に対応）	2億8,000万円 (4億8,000万円)	5年以内	7年以内 [借換の場合10年以内]	1.7%以内～2.2%以内		小規模企業者1/2							
				(2)東京信用保証協会、東京都内の商工会議所・商工会、東京都中小企業振興公社又は東京都よろず支援拠点の経営支援を受け、自ら改善計画を策定し、その証明を受けた中小企業者等		10年以内											
(3)事業再生計画実施関連保証に定める要件（経営サポート会議による検討に基づき作成又は決定された事業再生の計画に従って事業再生を行い、金融機関に対して計画の実行及び進捗の報告を行うこと等）に該当する中小企業者等（【国の全国統一保証制度】に対応）				15年以内		1.7%以内～2.4%以内											
企業再生支援融資	企業再生	事業を再生	次のいずれかに該当する中小企業者等 (1)【法的整理型】民事再生手続又は会社更生手続を申し立て、計画認可後3年を経過しておらず、未完遂 (2)【私的整理型】中小企業再生支援協議会など公的機関の支援等を受け、事業再生に取り組む	2億円	10年以内		金融機関所定		小規模企業者1/2								
	特別借換	月々の返済負担を軽減	事業計画を策定し、保証付融資を借り換えることで、資金繰りの安定化や経営改善に取り組む中小企業者等	既往の保証付融資残高及び事業計画の実施に必要な資金の範囲内		10年以内					—						

このほか、災害により損失を受けた中小企業者等を対象とした災害復旧資金融資などを実施しています。

※1 据置期間を含みます。

※2 融資利率は①責任共有制度対象利率、②責任共有制度対象外利率（\*）のうち、各融資メニューで主に適用される利率を記載しています。

※3 その他特例制度があります。詳細は、右ページをご覧ください。

## その他特例制度

融資メニュー		融資対象	融資条件等
小規模企業向け融資	小口	次のいずれかに該当するもの (1) 商工会議所・商工会の経営指導を1年以内に6か月以上複数回受けたもの (2) 経営革新計画に係る中小企業診断士の実施フォローアップを受けたもの	融資利率を0.4%優遇
		短期つなぎ特例	都・都内区市町の保証付融資制度を利用し、約定（元金）返済を1年以上継続しているもの
一般事業資金融資	事業一般	受注対応特例	確定した受注があり、その受注に対応するための資金を必要とするもの
		短期つなぎ特例	都・都内区市町の保証付融資制度を利用し、約定（元金）返済を1年以上継続しているもの
	組合向け	官公需適格特例	官公需適格組合としての証明を受けた組合
創業融資	創業	創業支援特例	区市町村の認定特定創業支援等事業による支援又は商工団体等による創業支援を受けたもの
経営支援融資	事業承継	事業承継支援特例	地域持続化支援事業による東京商工会議所、東京都商工会連合会からの支援及び東京都中小企業振興公社による事業承継・再生支援事業による支援を受けたもの
		経営者保証特例	事業承継の融資対象(1)の要件に該当し、かつ直前の決算において一定の財務要件を満たすもの

## 融資利率

- ・ 融資利率は、融資メニュー、融資期間、責任共有制度の対象・対象外等によって異なります。
    - (1) 責任共有制度対象：信用リスクの80%を東京信用保証協会が、20%を金融機関が負担
    - (2) 責任共有制度対象外：信用リスクの全てを東京信用保証協会が負担
  - ・ 融資メニューには、固定金利・変動金利を選択できるものがあります。
- 詳細については、ご利用になる取扱指定金融機関にご相談ください。

## 信用保証料

- ・ 信用保証料とは、東京信用保証協会が債務の保証を行うために、利用者に負担していただく費用です。
- ・ 信用保証料率は、責任共有制度の対象・対象外や経営状況等によって異なります。東京都中小企業制度融資の信用保証料率は、一般的な信用保証料率よりも低く設定されており、さらに、東京都が、信用保証料の一部を東京信用保証協会に対して補助することを通じて、利用者の負担軽減を図っています。

### 責任共有制度の対象となる場合

区分(残高を含む合計額)	信用保証料率(年率)	
500万円以下	0.27% ~ 1.19%	
1,000万円以下	0.33% ~ 1.33%	
1,000万円超	有担保	0.35% ~ 1.39%
	無担保	0.45% ~ 1.49%

### 責任共有制度の対象外となる場合

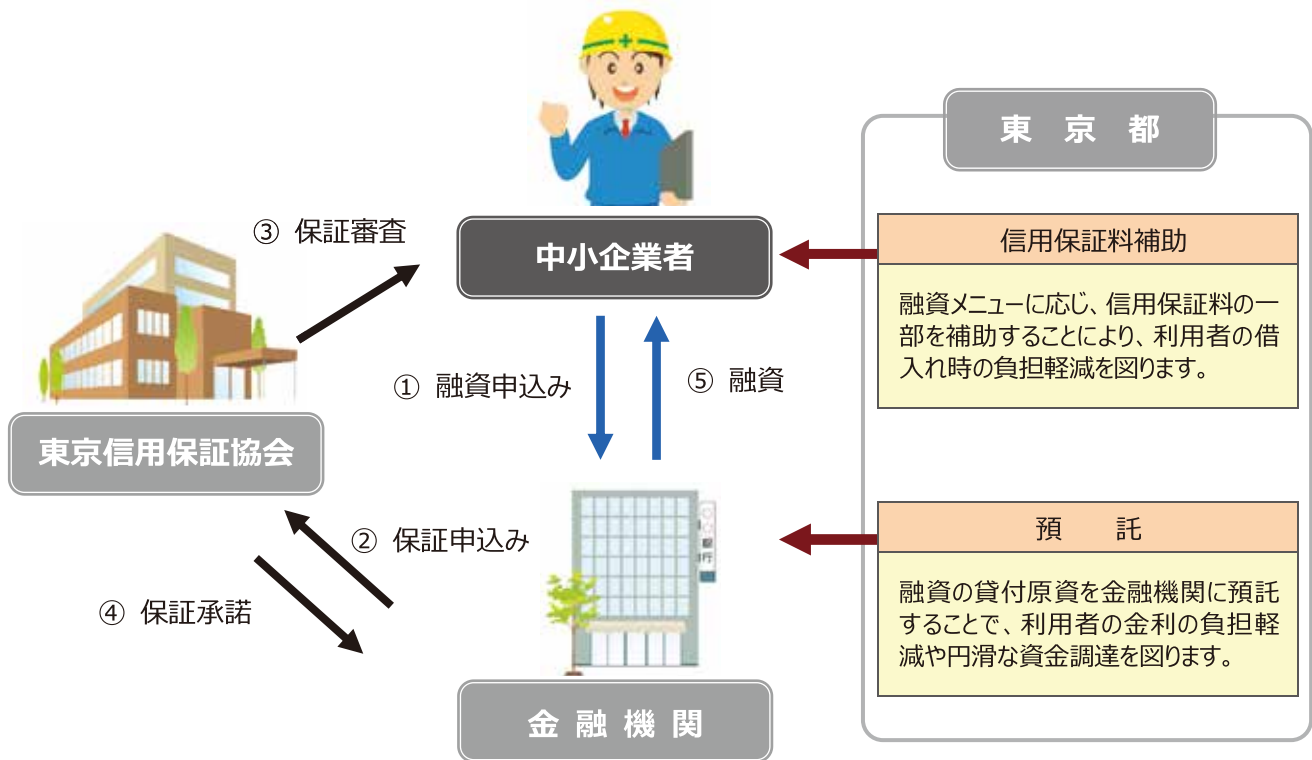
区分(残高を含む合計額)	信用保証料率(年率)	
500万円以下	0.30% ~ 1.38%	
1,000万円以下	0.37% ~ 1.54%	
1,000万円超	有担保	0.40% ~ 1.62%
	無担保	0.50% ~ 1.72%

※ セーフティネット保証等の特例保証が適用される場合は0.34%~0.80%、「企業再建」を利用する場合は東京信用保証協会の定めるところによります。

※ 会計参与を設置している旨の登記を行ったことを示す書類、公認会計士又は監査法人の監査を受けたことを示す監査報告書（写し）のいずれかを提出した場合、信用保証料率が0.1%優遇されます（ただし、個人事業者、組合、医療法人等は対象になりません。）。

## 制度融資のしくみ（お申込みの流れ）

- ・ 東京信用保証協会は、利用者が金融機関から融資を受ける際にその債務を保証することで利用者の信用を補完し、金融機関は、東京都の定めた条件で運転資金や設備資金の融資を行います。
- ・ 東京都は、利用者が東京信用保証協会に支払う信用保証料の補助や、金融機関に対する貸付原資の預託などにより、利用者の負担軽減や円滑な資金調達を図ります。



**【お申込みの流れ】** ※ 融資のお申込み・ご相談先については裏面をご覧ください。

- ①② 取扱指定金融機関（銀行、信用金庫、信用組合等）の窓口で融資をお申込みください。  
東京信用保証協会への保証申込みについても、取扱指定金融機関を通じ、融資申込みと併せて行います。  
なお、①融資申込みにおいて必要となる書類の一部は、スプレッドシートソフトウェアの Microsoft® Excel® 及び Adobe Acrobat Reader を用いての編集が可能です。以下をご参照ください。  
<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/kinyu/yuushi/yuushi/syorui/>
- ③④ 東京信用保証協会は、保証審査を行い、保証の諾否を決定します。
- ⑤ 東京信用保証協会が保証を承諾した後、取扱指定金融機関が融資を実行します。

## 保証人・物的担保

### 【保証人】

原則として法人代表者を除き連帯保証人は不要です（※）。ただし、組合は、その実情に応じて、代表理事以外の理事を連帯保証人とする場合があります。

（※）例えば、次のいずれかに該当し、保証協会が認める場合は、法人代表者の個人保証を不要とします。

- （1）申込金融機関が、そのプロパー融資（信用保証協会等による保証を付さない融資）について法人代表者の個人保証を不要とし、担保による保全が図られていない場合であって、法人と代表者の分離、債務超過でない等の一定の要件を充足している場合
- （2）法人又は法人代表者等が所有する不動産について担保提供があり、十分な保全が図られる場合

### 【物的担保】

既往の保証付融資残高と新規の保証付融資額の合計が 8,000 万円以下の場合、原則として無担保とします。合計が 8,000 万円を超える場合は、物的担保が必要となります。

※ 詳細については、融資ごとに定めます。

## その他の注意事項

- 以下の(1)～(7)のいずれかに該当する場合は、東京都中小企業制度融資をご利用いただけません。
  - 東京信用保証協会又はその他の信用保証協会の保証付融資の返済が不能となり、かわって東京信用保証協会又はその他の信用保証協会から金融機関に対する支払い（代位弁済）を受けた先で、東京信用保証協会又はその他の信用保証協会に債務（求償債務）が残っている場合
  - 原則として、東京信用保証協会又はその他の信用保証協会に対し、求償権の保証人として保証債務を負っている場合
  - 銀行取引停止処分を受けている場合（原則として1回目の不渡りを出して6か月を経過していない場合を含む。）。なお、法人の代表者が銀行取引停止処分（1回目の不渡りを含む。）を受けている場合は、当該法人も原則として利用できません。
  - 破産、民事再生、会社更生等法的手続中又は内整理等私的手続中の場合（それぞれ、申立て中の場合を含む。）。ただし、民事再生法等に基づく再生計画の認可を受けた場合などは「企業再建」の申込みができる場合もあります。
  - 最終登記後12年以上経過した株式会社で、会社法第472条の規定により休眠会社として解散したものとみなされた場合
  - 東京信用保証協会若しくはその他の信用保証協会の保証付融資又は金融機関固有の融資について、延滞等の債務不履行がある場合
  - 粉飾決算や融通手形操作を行っている場合
- 申込みにあたっては、あせん料、仲介手数料等を要求する、いわゆる金融あっせん屋にご注意ください。金融あっせん屋等の第三者が介入する保証申込みは一切取扱いいたしません。
- 保証契約にあたっては、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を踏まえ適切な対応に努めることとしています。
- このパンフレットは、東京都中小企業制度融資の内容をお知らせするものです。個別の融資については審査の上で実行するため、ご希望に添えない場合があります。また、法律の認定・承認等が要件になっている融資メニューについても、認定・承認等によって自動的に融資、保証に結びつくものではありません。
- 融資条件は、融資メニューやお申込み内容によって異なりますので、詳細はお近くの取扱指定金融機関又は下記窓口までお問い合わせください。

## 融資のお申込・ご相談窓口

東京都（ [http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/kinyu/yuushi/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/kinyu/yuushi/yuushi/) ）

産業労働局金融部金融課	新宿区西新宿 2-8-1 都庁第一本庁舎 19 階北側	03 (5320) 4877
<b>島しょ</b>		
大島支庁 産業課	04992 (2) 4431	八丈支庁 産業課 04996 (2) 1113
三宅支庁 産業課	04994 (2) 1312	小笠原支庁 産業課 04998 (2) 2122

東京信用保証協会（ <http://www.cgc-tokyo.or.jp/> ）

本店（千代田・中央・港・島しょ）	03 (3272) 3151	上野 支店（文京・台東・北）	03 (3847) 3171
池袋 支店（豊島・板橋・練馬）	03 (3987) 5445	渋谷 支店（世田谷・渋谷）	03 (5468) 0135
五反田 支店（品川・目黒）	03 (5447) 8250	葛飾 支店（葛飾）	03 (5680) 0801
錦糸町 支店（墨田・江東・江戸川）	03 (5608) 2011	大田 支店（大田）	03 (5710) 3610
新宿 支店（新宿・中野・杉並）	03 (3344) 2251	立川 支店（八王子支店担当地域以外の多摩地区）	042 (525) 6621
千住 支店（荒川・足立）	03 (3888) 7231	八王子 支店（八王子・町田・日野・多摩・稲城）	042 (646) 2511

### 創業に関する相談・申込

上記の東京信用保証協会の本店保証部及び各支店において、創業に関する相談・申込を受けています。（創業アシストプラザ）

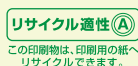
### その他の相談窓口

東京都中小企業団体中央会	03 (3542) 0386	（公財）東京都中小企業振興公社 （城東、城南、多摩各支社でも応じています）	03(3251)7881～2
東京都内の商工会議所・商工会			

## 東京都産業労働局金融部金融課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 都庁第一本庁舎 19 階北側 TEL 03-5320-4877（直通）

[http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/kinyu/yuushi/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/kinyu/yuushi/yuushi/)



東京都 制度融資

検索



印刷物規格表 第 4 類

印刷番号 (30)72